



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 株式会社 タムラ製作所

上場取引所 東

コード番号 6768 URL <http://www.tamura-ss.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅田 昌弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 橋口 裕作

TEL 03-3978-2031

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	39,008	9.5	941	50.6	1,039	46.9	766	48.7
2019年3月期第2四半期	43,112	3.9	1,905	27.0	1,956	28.8	1,492	28.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 170百万円 (61.8%) 2019年3月期第2四半期 446百万円 (78.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	9.34	9.28
2019年3月期第2四半期	18.19	18.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	83,180	46,920	55.9
2019年3月期	86,073	47,155	54.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 46,521百万円 2019年3月期 46,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		5.00	10.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	6.9	3,400	26.1	3,300	31.9	2,200	65.6	26.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	82,771,473 株	2019年3月期	82,771,473 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	704,716 株	2019年3月期	728,716 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	82,057,314 株	2019年3月期2Q	82,012,593 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化などを背景に中国の設備投資や個人消費の減速が続き、その影響が我が国をはじめとして世界各国へ拡大いたしました。また、当社グループに関わるエレクトロニクス業界では、産業機械関連をはじめとして各分野で需要の減少や計画先送りが生じました。

このような経営環境のもと、当社グループでは2021年度をターゲットとする新中期経営計画「Biltrite Tamura GROWING ANEW」を、2019年4月に新たな経営体制でスタートし、グループ一丸で成長市場に取り組み、グローバルな生産・販売・開発体制の強化と効率化を進めております。

しかし、足元では厳しい市場環境を背景に、当社が取り扱う多くの事業分野において売上が前年同四半期実績を下回り、当社グループの当第2四半期連結累計期間の状況といたしまして、売上高は390億8百万円（前年同四半期比9.5%減）、営業利益は9億4千1百万円（同50.6%減）、経常利益は10億3千9百万円（同46.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億6千6百万円（同48.7%減）と減収減益になりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高を含めており、セグメント利益はセグメント間取引消去及び本社部門負担の未来開発研究費用控除前の営業利益と調整を行っております。

① 電子部品関連事業

電子部品関連事業は、設備投資需要の鈍化を背景に産業機械関連顧客向けのトランス・リアクタ・電流センサなどの需要が低迷し、中国市場向けのエアコン用リアクタや、電動工具用のチャージャなども弱含みで推移いたしました。将来の拡大に向けた環境車向け昇圧リアクタの国内外の生産拠点の構築は計画どおり進行しております。

その結果、売上高は254億1千万円（前年同四半期比8.6%減）、セグメント利益は1億3千7百万円（同13.2%減）と、減収減益になりました。

② 電子化学実装関連事業

電子化学事業は、エレクトロニクス市場が総じて厳しい環境にある中で、例年よりは低水準ながらも、車載向けの高信頼性ソルダーペースト・ソルダーレジストやスマートフォン向けのソルダーレジストは概ね期初予想に沿って推移しております。実装装置事業は、当第2四半期累計期間の売上はやや厳しかったものの、第3四半期以降の売上に貢献する米中貿易摩擦を背景とした中国以外のエリアからの受注や、炉内の汚れを大幅に低減し生産性の向上に寄与する新型リフロー装置の受注は進んでおります。

その結果、売上高は124億5千4百万円（前年同四半期比8.8%減）、セグメント利益は11億9千1百万円（33.1%減）と、減収減益になりました。

③ 情報機器関連事業

情報機器関連事業は、上半期末となる9月に放送局向けの音声調整卓（ミキサー）や通信事業者向けの監視装置のまとまった売上を期待していたものの、監視装置の売上の下半期先送りや、放送機器の需要が予想ほどに高まらなかったことにより、当第2四半期連結累計期間の売上は利益確保に必要な水準に至りませんでした。

その結果、売上高は12億5千1百万円（前年同四半期比25.7%減）、セグメント損失は1億3千2百万円（前年同四半期は1億6千1百万円のセグメント利益）と、減収減益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ28億9千2百万円減少し、831億8千万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産が48億6千6百万円減少した一方、固定資産が19億7千3百万円増加したことなどによります。なお、固定資産増加の主な要因は、IFRS適用在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用開始したことによるものであり、その影響額は15億8百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ26億5千8百万円減少し、362億6千万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の返済などにより流動負債が48億4千5百万円減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億3千4百万円減少し、469億2千万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億5千3百万円増加した一方、為替換算調整勘定の減少などによりその他の包括利益累計額が6億4百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米中関係をはじめ各国の保護主義的政策による貿易摩擦は長期化の様相を呈し、産業機械市場の回復が遅れるなど、当社を取り巻く事業環境は期初の想定を超えて厳しくなっていることから、2019年5月10日に公表した2020年3月期通期連結業績予想を同年10月11日に修正いたしました。こうした状況に対し、当社は販売促進によるリカバリーや経費節減等の施策を実施するとともに、将来の成長に向けた開発を着実に遂行してまいります。今後の当社を取り巻く事業環境は予断を許さない状況が継続することが予想されます。業績予想につきましては、本資料作成時現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,990	15,266
受取手形及び売掛金	22,100	18,912
商品及び製品	5,698	5,344
仕掛品	1,586	1,537
原材料及び貯蔵品	6,138	5,558
その他	2,852	2,877
貸倒引当金	△58	△54
流動資産合計	54,309	49,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,007	20,789
減価償却累計額	△10,774	△10,864
建物及び構築物(純額)	10,233	9,925
機械装置及び運搬具	16,184	17,110
減価償却累計額	△12,517	△12,211
機械装置及び運搬具(純額)	3,667	4,898
工具、器具及び備品	9,912	9,239
減価償却累計額	△8,422	△7,775
工具、器具及び備品(純額)	1,490	1,464
土地	5,159	5,126
リース資産	891	2,502
減価償却累計額	△462	△581
リース資産(純額)	429	1,920
建設仮勘定	1,515	1,167
有形固定資産合計	22,495	24,503
無形固定資産		
のれん	447	382
リース資産	232	360
その他	902	869
無形固定資産合計	1,581	1,611
投資その他の資産		
投資有価証券	3,975	3,867
退職給付に係る資産	1,994	2,055
繰延税金資産	1,189	1,138
その他	590	621
貸倒引当金	△63	△59
投資その他の資産合計	7,686	7,623
固定資産合計	31,764	33,738
資産合計	86,073	83,180

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,095	9,635
短期借入金	7,591	5,414
1年内返済予定の長期借入金	282	233
リース債務	195	863
未払法人税等	824	518
賞与引当金	1,055	987
役員賞与引当金	75	36
移転損失引当金	35	27
その他	3,254	2,849
流動負債合計	25,410	20,565
固定負債		
長期借入金	9,279	10,591
リース債務	531	1,499
繰延税金負債	94	94
移転損失引当金	11	—
退職給付に係る負債	3,136	3,067
その他	452	442
固定負債合計	13,507	15,694
負債合計	38,918	36,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,829	11,829
資本剰余金	17,037	17,036
利益剰余金	18,923	19,277
自己株式	△274	△265
株主資本合計	47,516	47,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	△1
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△37	△705
退職給付に係る調整累計額	△792	△649
その他の包括利益累計額合計	△752	△1,356
新株予約権	153	168
非支配株主持分	237	231
純資産合計	47,155	46,920
負債純資産合計	86,073	83,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	43,112	39,008
売上原価	30,729	27,807
売上総利益	12,383	11,200
販売費及び一般管理費	10,478	10,258
営業利益	1,905	941
営業外収益		
受取利息	28	42
受取配当金	55	51
為替差益	—	54
持分法による投資利益	50	45
補助金収入	25	52
その他	63	74
営業外収益合計	222	320
営業外費用		
支払利息	108	144
為替差損	21	—
その他	40	77
営業外費用合計	171	222
経常利益	1,956	1,039
特別利益		
固定資産売却益	0	209
投資有価証券売却益	164	—
特別利益合計	164	209
特別損失		
固定資産除売却損	30	36
特別退職金	7	—
事業譲渡損	8	—
特別損失合計	47	36
税金等調整前四半期純利益	2,073	1,212
法人税、住民税及び事業税	575	425
法人税等調整額	△2	28
法人税等合計	572	454
四半期純利益	1,501	757
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,492	766

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,501	757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143	△79
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,032	△602
退職給付に係る調整額	193	143
持分法適用会社に対する持分相当額	△72	△48
その他の包括利益合計	△1,055	△587
四半期包括利益	446	170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451	175
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、固定資産の部にリース資産(純額)15億8百万円、流動負債の部にリース債務6億3千4百万円、固定負債の部にリース債務8億8千万円が計上されております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,816	13,615	1,674	43,107	5	43,112	—	43,112
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39	9	48	340	388	△388	—
計	27,816	13,654	1,684	43,155	345	43,501	△388	43,112
セグメント利益	157	1,781	161	2,100	17	2,118	△213	1,905

(注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸・倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△213百万円には、セグメント間取引消去36百万円及び各報告セグメントに配賦していない本社部門負担の未来開発研究費用△249百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,410	12,401	1,195	39,007	0	39,008	—	39,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53	56	109	336	445	△445	—
計	25,410	12,454	1,251	39,116	337	39,454	△445	39,008
セグメント利益又は 損失(△)	137	1,191	△132	1,195	8	1,203	△262	941

(注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸・倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△262百万円には、セグメント間取引消去32百万円及び各報告セグメントに配賦していない本社部門負担の未来開発研究費用△294百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。